

巻 頭 言

グローバル化やA I（人工知能）をはじめとする技術革新が急速に進む中、学校の指導者は、これからの幼児児童生徒に対し、社会の変化に柔軟に対応できる能力を育み、主体的に向き合って関わり合い、自ら新しい社会の在り方を形作っていく力をつけていくことが求められています。そこで、新しい学習指導要領では、学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育んでいくことを目指しています。

体育・保健体育の学習においては、すべての子供たちが、生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、健康・安全に生きていく上で、必要な身体能力、知識などを身に付けることが求められています。

このように学校体育の重要性がますます高まる中、本県教育委員会体育保健課では、「幼児児童生徒が、自ら、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するとともに心身の健康を保持増進し安全に生活できる資質や能力を育成する」ことを取組の方向の一つとして示しています。

本書は、これらの取組に資する学校体育の資料として、昭和55年3月以来、第8巻の発刊となります。本資料が学校体育のなお一層の充実・発展につながり、子供たちの豊かな未来創造の推進の一助として活用していただけることを切に願っております。

終わりに、本書の編集に当たりまして、資料等の提供で御協力をいただきました関係の皆様にご心から感謝申し上げます。

令和3年3月

熊本県教育庁県立学校教育局体育保健課長 平 江 公 一